

# 令和6年度 国民健康保険事業費 納付金等の算定結果について

## < 算定結果 編 >

滋賀県健康医療福祉部医療保険課

この資料では、「資料1」でご説明した算定方法に基づく令和6年度 納付金  
および標準保険料の算定結果をご説明します。

## ～説明の流れ～

### (1) 滋賀県国保の現状

算定を行う上で前提となる医療費や被保険者数の推移等、市町国保の現状

### (2) 令和6年度 納付金等の算定過程

令和6年度 納付金等の算定過程について

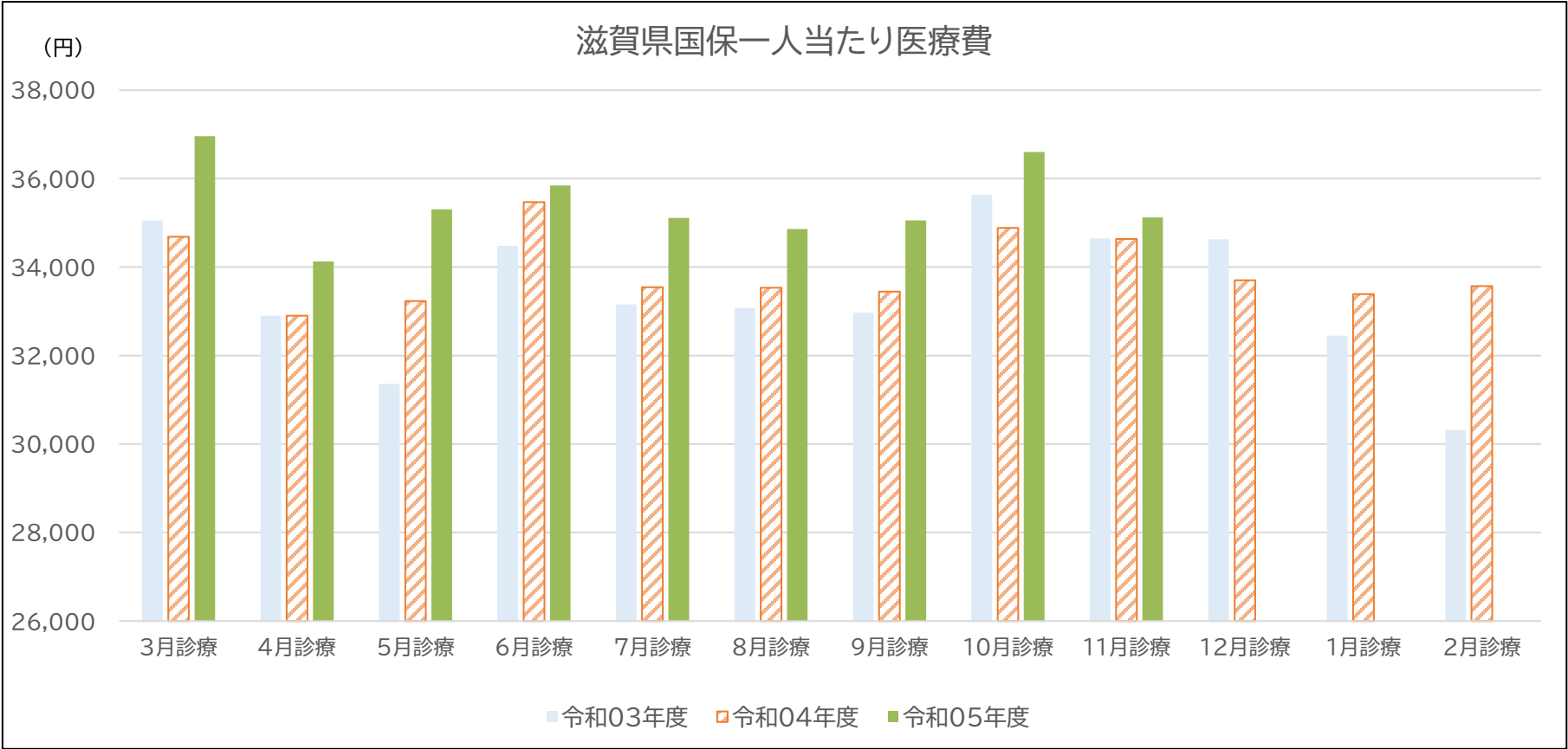
### (3) 令和6年度 納付金等の算定結果

令和6年度 納付金等の算定結果や増減要因について

# ■ 滋賀県国保の現状①（一人当たり医療費）

## 一人当たり医療費

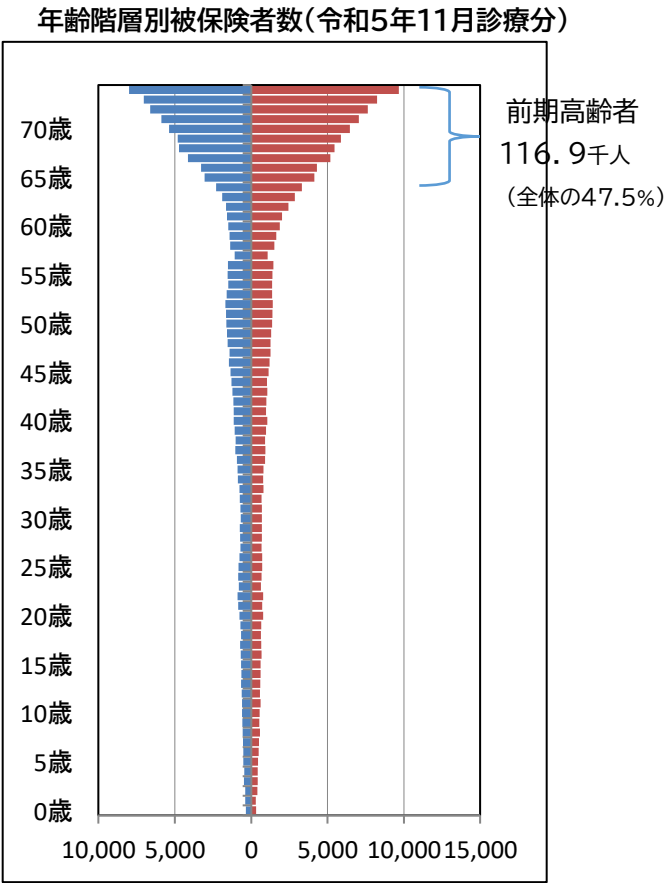
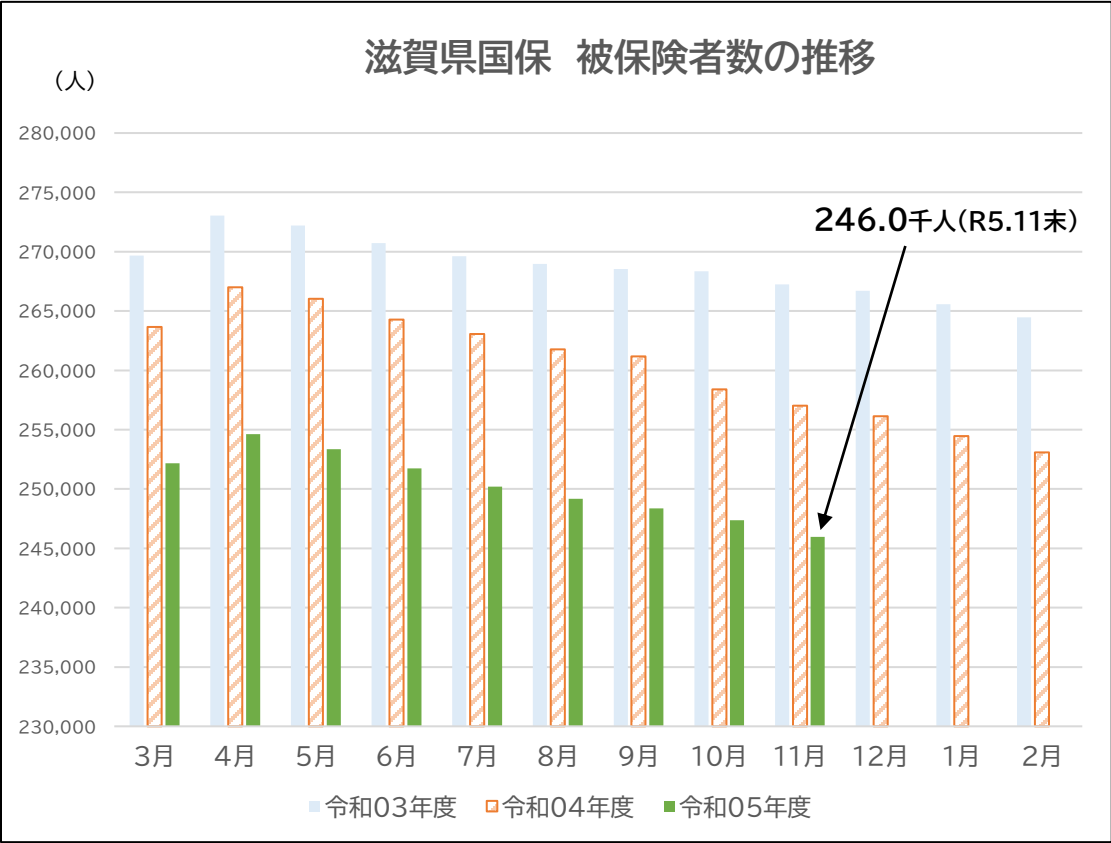
令和5年度の一人当たり医療費は、令和4年度に比べ約4%増加している。



# ■ 滋賀県国保の現状②(被保険者数)

## 被保険者数

後期高齢者医療制度への移行等により減少傾向が続いていますが、今後もこの傾向は続くと思われます。



## ■ 令和6年度 納付金等の算定過程① 算定条件

はじめに、県が独自に推計等を行う主な項目については、以下の条件により算定しています。  
(下記以外の項目は、国が示す係数(単価等)を基に算定しています。)

### ① 医療費推計

「被保険者数」・・・ 239,775人(令和5年度(推計)差 ▲11,301人)

(コホート要因法(1歳きざみの推計)により、団塊世代の後期高齢者医療制度への移行を反映)

「一人当たり医療費」・・・ 428,535円(令和5年度推計比 +3.27%)

(令和5年3月から7月までの実績を基礎として、過去2年間の伸び率により推計)

### ② 剰余金 … 5億円活用

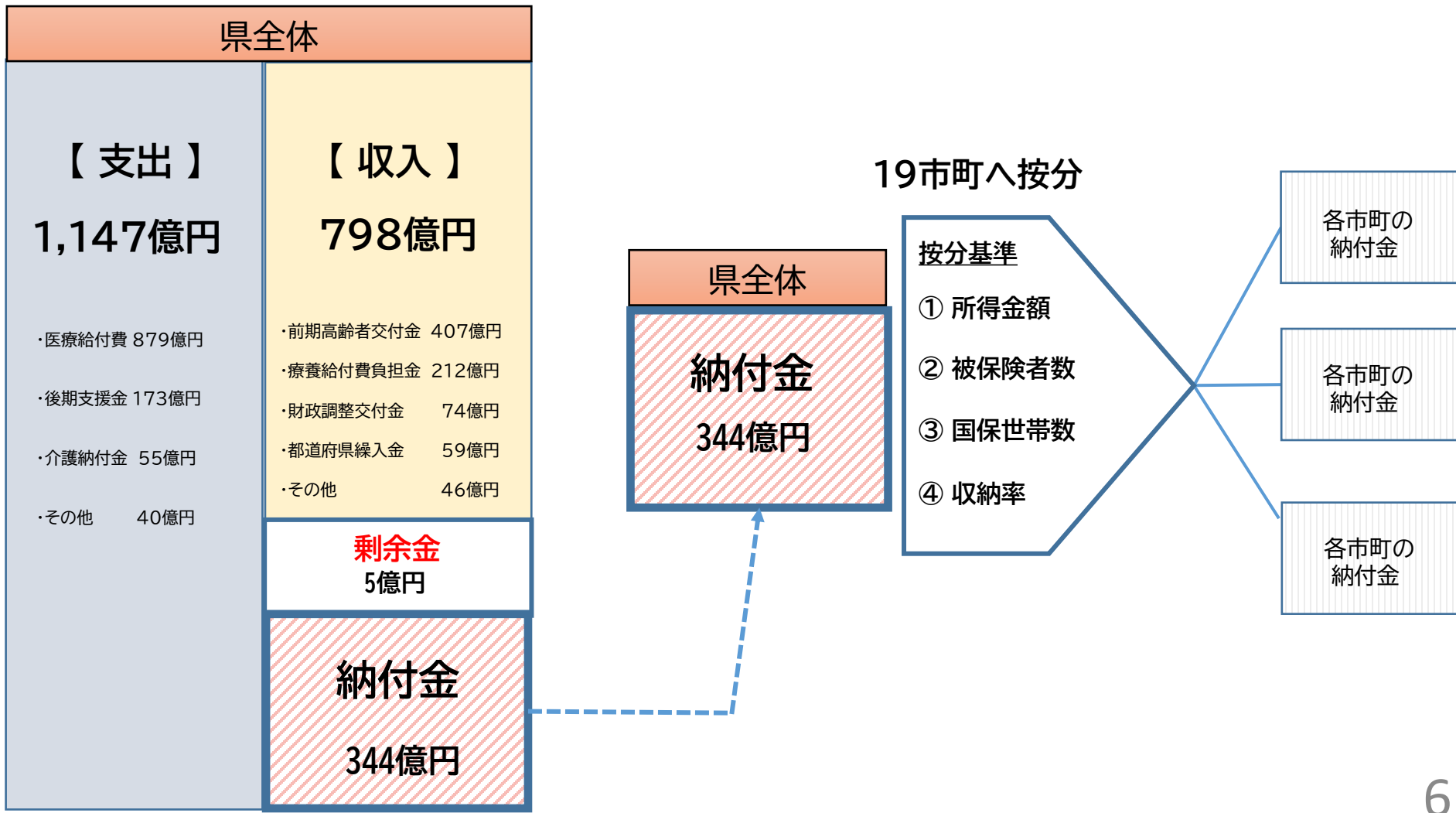
医療給付費(支出)が増加することなどによる、被保険者の負担の急増を抑制

### ③ 財政安定化基金への積立 … 6億円

令和9年度の保険料水準の統一を見据え、今後の平準化対策として積立

# ■ 令和6年度 納付金等の算定過程② 納付金の算定過程

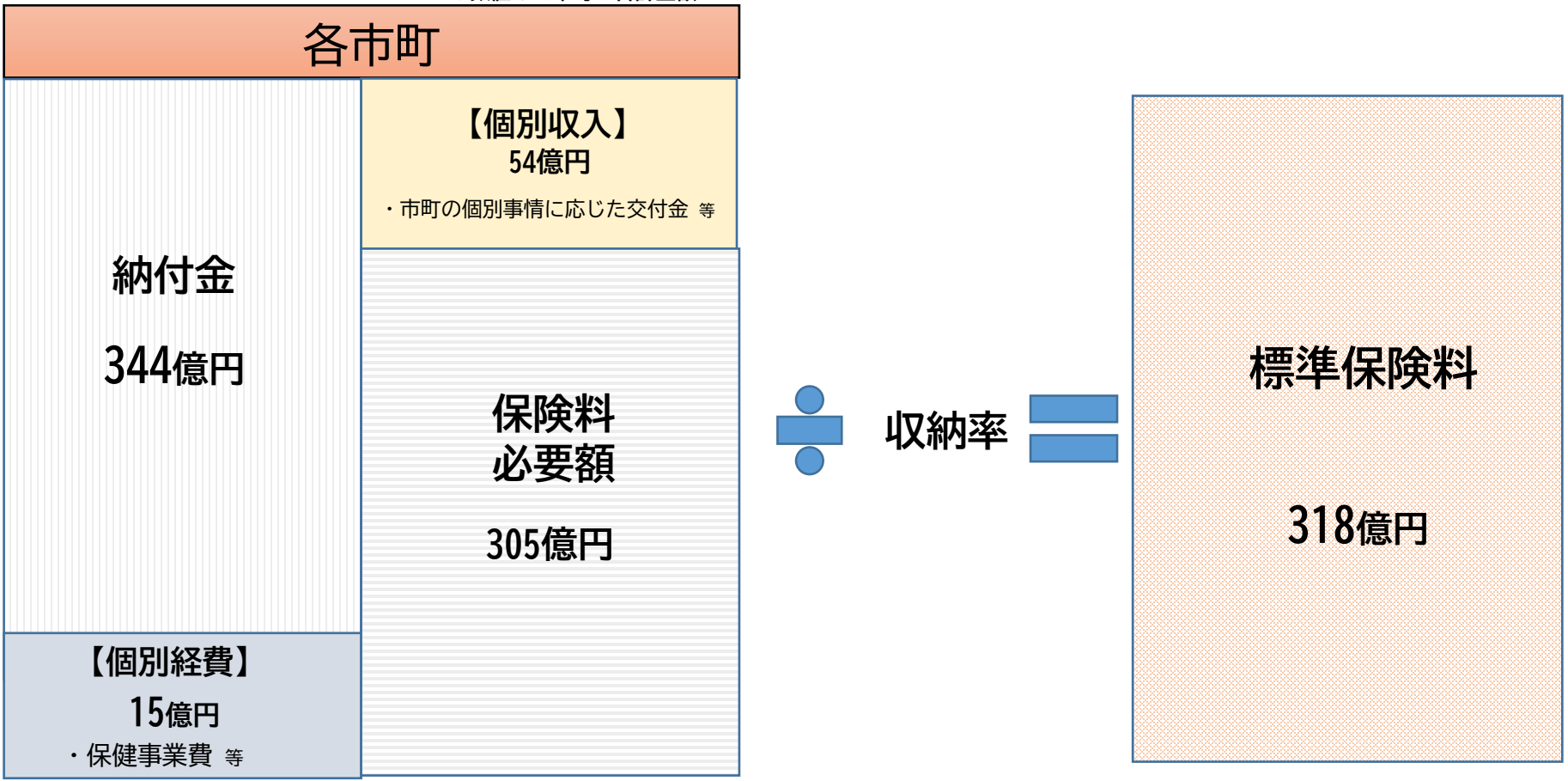
次に、推計した医療給付費等に基づき、県全体の支出から収入を差し引きし、県全体の納付金を算出後、各市町へ按分し各市町の納付金を算出します。



■ 令和6年度 納付金等の算定過程③ 標準保険料の算定過程

各市町の納付金に市町個別の経費、収入を加減算し、必要な保険料を算出します。算出した保険料必要額を各市町の収納率で割り戻し、賦課すべき標準的な保険料を算定します。

※数値は19市町の合計金額



# 令和6年度 納付金等の算定結果① 県平均

算定した令和6年度の一人当たり標準保険料(県平均)は下表のとおりです。

	令和6年度一人当たり 標準保険料	令和5年度一人当たり 標準保険料	一人当たり標準保険料 の比較	
			増減額	増減率
県平均	132,651円	124,498円	+8,153円	+6.55%

※一人当たり標準保険料は、推計した保険料総額を一般被保険者数で除して算出した理論値であり、**実際に市町が賦課する保険料とは異なります。**

また、所得に比例する応能分があるため、**被保険者の負担の高低を直接示すものではありません。**

# 令和6年度 納付金等の算定結果② 市町別

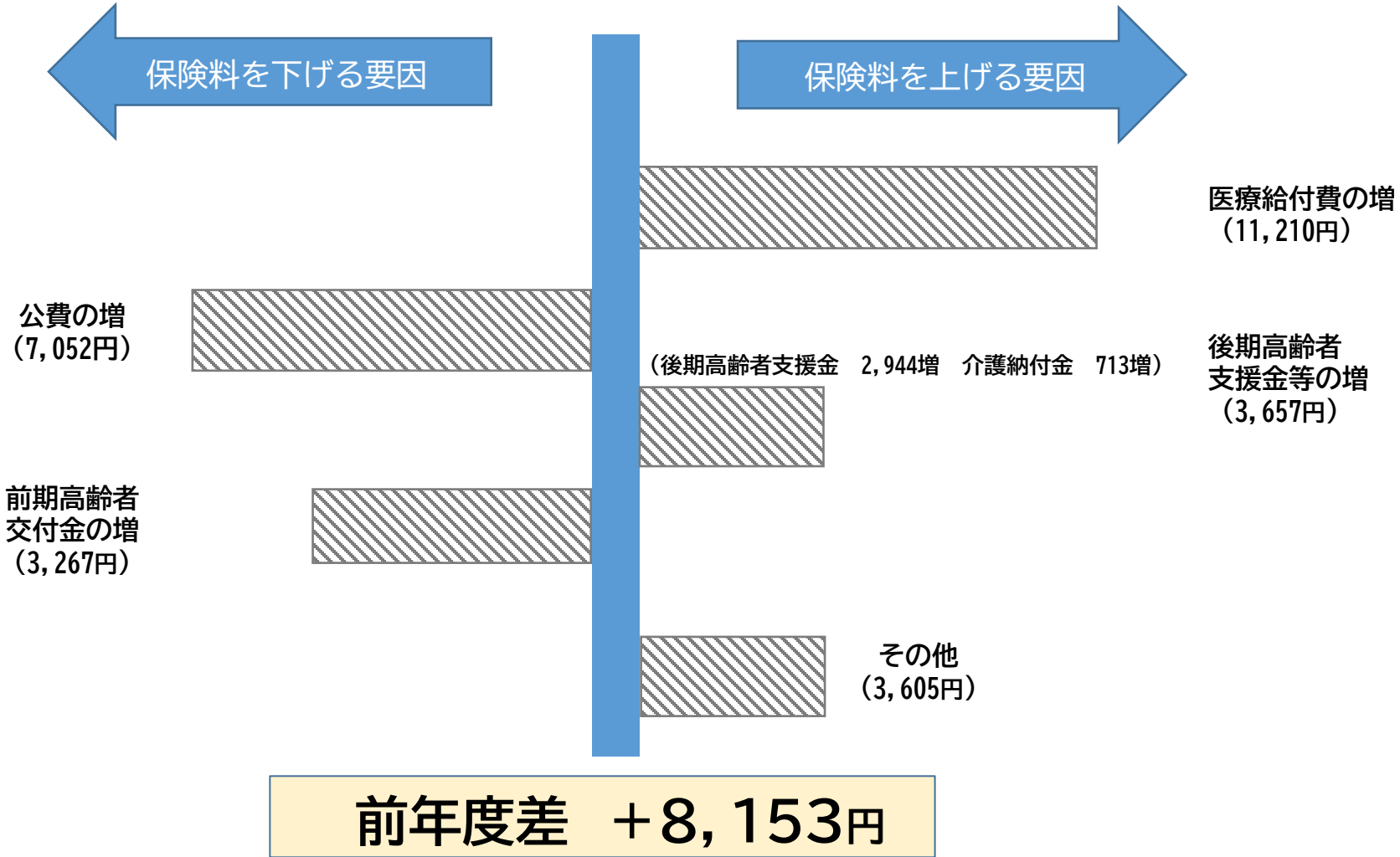
算定した令和6年度の一人当たり標準保険料(各市町別)は下表のとおりです。

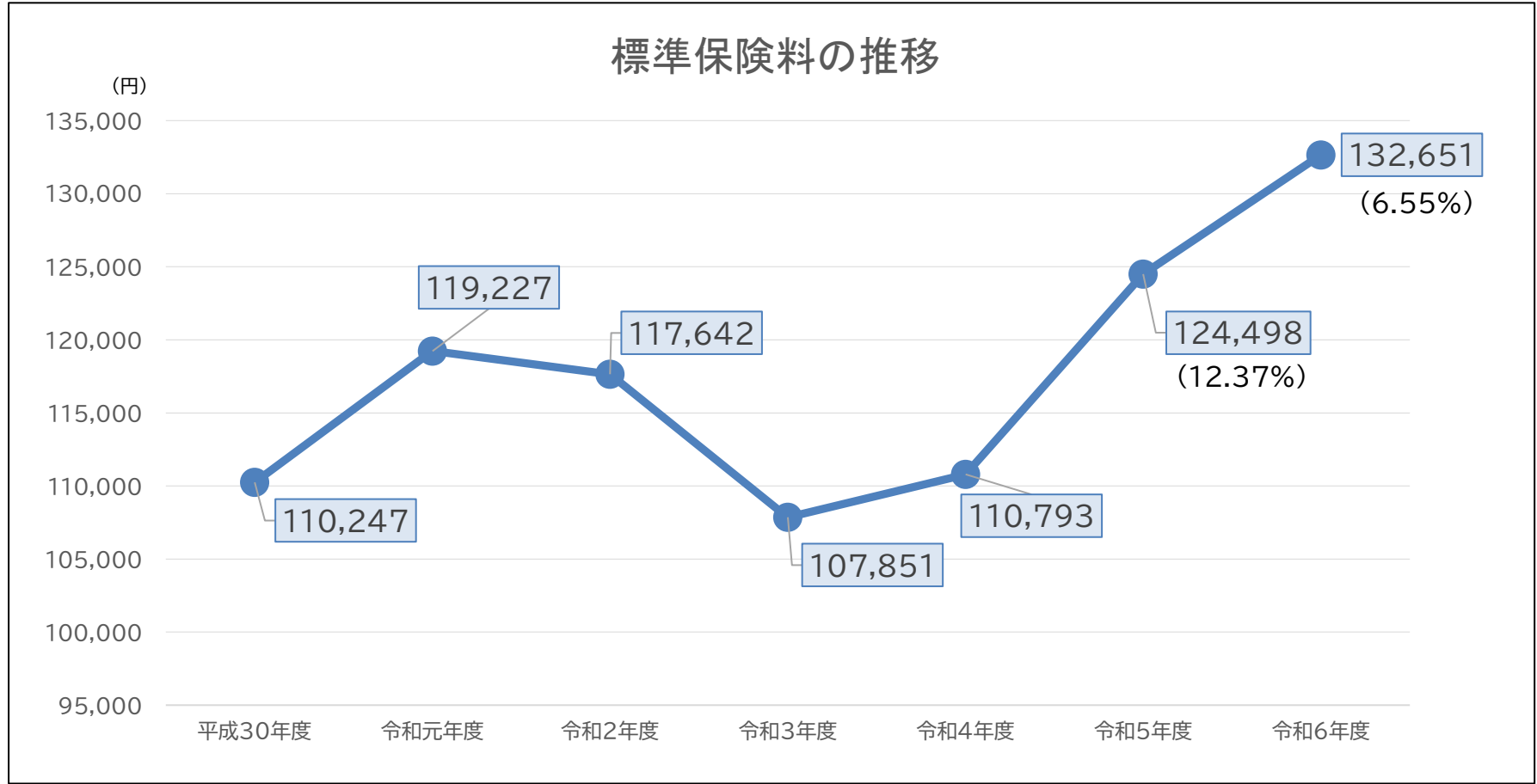
(前年度の激変緩和規模の影響等により、増減は各市町バラつきがあります。)

市町名	令和6年度(本算定) 一人当たり標準保険料	令和5年度 一人当たり標準保険料	比較	
			増減額	伸び率
大津市	131,060円	125,053円	6,007円	4.80%
彦根市	131,547円	125,941円	5,606円	4.45%
長浜市	129,713円	118,429円	11,284円	9.53%
近江八幡市	130,985円	125,225円	5,760円	4.60%
東近江市	133,627円	124,089円	9,538円	7.69%
草津市	138,212円	126,606円	11,606円	9.17%
守山市	137,220円	124,798円	12,422円	9.95%
野洲市	133,319円	129,104円	4,215円	3.26%
湖南市	133,599円	126,883円	6,716円	5.29%
甲賀市	132,831円	125,349円	7,482円	5.97%
高島市	125,821円	120,088円	5,733円	4.77%
米原市	128,659円	119,747円	8,912円	7.44%
栗東市	145,345円	134,557円	10,788円	8.02%
日野町	130,626円	116,775円	13,851円	11.86%
竜王町	132,623円	126,560円	6,063円	4.79%
愛荘町	131,548円	119,661円	11,887円	9.93%
豊郷町	119,148円	108,972円	10,176円	9.34%
甲良町	122,558円	111,147円	11,411円	10.27%
多賀町	134,589円	127,869円	6,720円	5.26%
滋賀県	132,651円	124,498円	8,153円	6.55%

令和6年度 納付金等の算定結果③ 増減要因

標準保険料の主な増減要因については下図のとおりです。  
(医療給付費などの増要因に対して、剰余金を活用しています。)





各市町は今回の算定結果に基づく標準保険料率を参考に、各市町の財政状況を勘案し、令和6年度の保険料率を決定することになります。